

イコール在宅ケアサービス広報誌 2016.晩冬

E

イイケア



CARE

Vol.2

「寒かったでしょ」
あなた
という介護の
あたたかい言葉。

知られざる訪問介護の世界 「介ゴ士と、冬」
イコールびと 介ゴびとの休日 ケアマネのとある一日
福祉用具事典 ホップステップ福祉
弁護士さんいらっしゃい 社長と話そう会



知られざる訪問介護の世界

介ゴ士と、冬

今年も、冬の終わりが近づいてまいりました。

イコールの介護員たちは、どのように寒さとお付き合いしたのでしょうか？ちょっとだけ、振り返ってみます。

心が温まった日

佐久間

冬の大変なところは寒さです。寒さのあまり、手が思うように動かないこともしばしば。とある訪問先で家事援助の仕事をしていた時のことです。ご利用者様から、「寒くない？大丈夫？」と、声をかけてくださいました。あたたかい言葉を頂いて、体だけでなく心も温めてくれる、ホッカイロを握ったような感覚になったのを覚えています。介護員として僕のやっている仕事も、誰かの心を温めるホッカイロになってくれていればいいなと改めて思った冬の日でした。

雪の日の外出

伊部

毎年、雪が降らないことを祈りつつ、でもそれは叶わぬこと。当日も大変なのですが、更に大変なのは、翌日以降です。雪が凍り、アイスバーン状態になると、雪以上に気を遣います。特に利用者さんと外出の時は、先々の道路の状態を見つつ進みます。すると「自分は大丈夫だけど、あなたが転ばないようにね」と、逆に心配されてしまいました。そうでした。私が転んでしまったら、どうすることもできません。利用者さんに教えられた一言でした。

うれしい再会

斎藤

冬場はとても乾燥しますので、加湿器のないお宅では、バスタオルを濡らしたものをお部屋に下げたりして、少しでもお部屋を加湿します。濡らしたものは洗濯機で脱水するのですが、ご利用者さん宅で、久しぶりに二層式洗濯機に出会いました。使用していた当時は振り返りつつセットしましたが、ガタガタガタ〜！と回らず…。使い方を教えて頂きながら、ああ、小さい頃、二層式洗濯機を使って手伝いをしていたなあと、懐かしい感覚を思い出させていただきました。

ヒートテック最強！

上山

今年に入り、雪も降ったりして、急に寒くなってきました。風邪も流行りだし、「これは体調管理をしっかりせねば」と、例年より防寒のレベルをアップしました。手袋やマフラーはもちろん、上着の下にヒートテックを着て、更に下にもヒートテックをはいて、風邪対策にもなるマスクをして、寒さを和らげています。介護員として、寒さに負けてはいられません！…それでもやっぱり、早く春にならないかなーっと思いつながら、毎日を過ごしています。

徒然写真館

レンズを通すと、色々見えてくる、かも。

雪解けと春

介護員兼、福祉タクシー運転手として勤務する小笠原は、イコール専属のカメラマンでもあるのです。今回は、そんな小笠原の徒然写真をご紹介します。「この梅の花、イコールの庭で撮ったの。春の訪れを告げていますね！（小笠原）」



介ゴびとの休日

介護は体が資本。体は休めるのが基本。

過ぎました。

(有野)

日々の忙しい時を忘れ、涙無し、笑いあいの楽しいひと時を

ムで盛り上がりました。

年間報告や皆様からのご挨拶を頂いた後は、大人も子どもも一緒に、カラオケやゲームで盛り上がりました。

頂き、会場はにぎやかな雰囲気

に。今回もたくさんの方にご参加

に1度の好流会を開催しました。

2015年11月29日、東大和

市駅前のビックボックスにて、年

in東大和 ビックボックス

11月好流会



好流会だヨ！全員集合～



子ども達もいます！



楽しいこともします



まじめな話もします

ケアマネのとある一日

ケアマネジャーは、どんな仕事を、どれだけしているんだろう？

ケアマネ・武内の、 とある一日に密着！

大切な就寝時間

ケアマネの仕事は細やかな業務の積み重ね。完璧にこなすためには、就寝時間は非常に大切です。私のように「初老」の域に入ると、夜中に何度も目が覚めます。私の場合猫と寝ているせいもありますが…就寝時間はゆとりを持つようにしています。

私のポイント

訪問した時のご利用者とのふれあいを大切にしています。



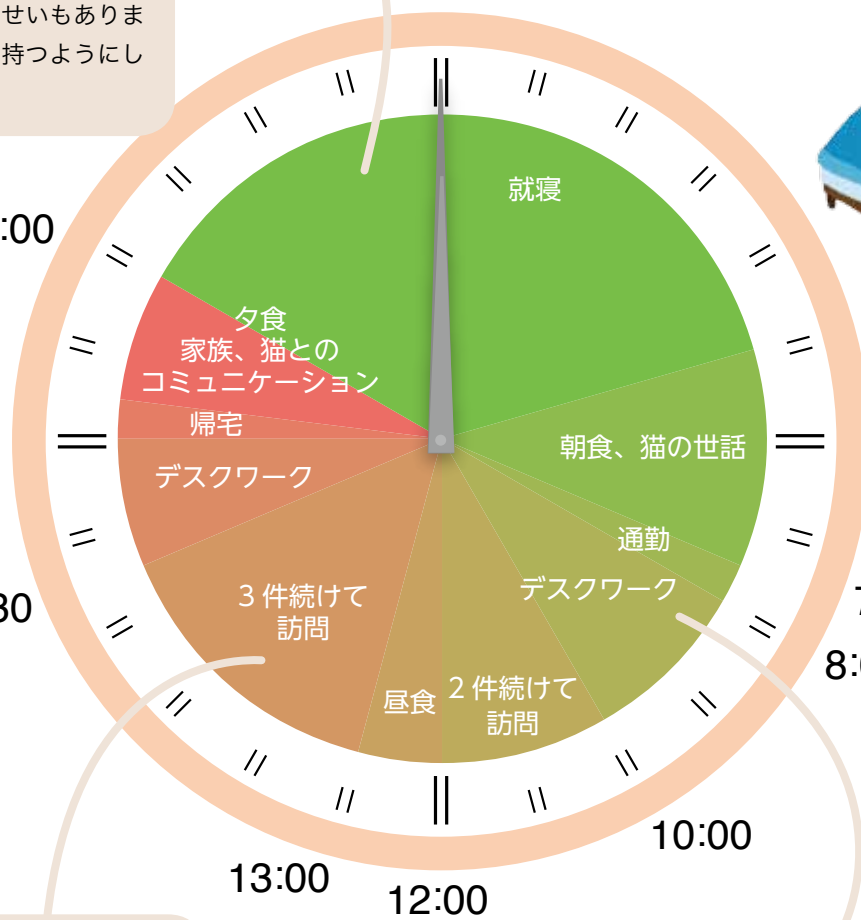
訪問もたくさん

訪問も月約30件。調整が難しく、ご迷惑をかけることもあります。ご利用者との会話は何物にもかえがたい楽しい時間です。時にはおしかりも受けますが、それも次に活かせるよう努力。個人のプライバシーですので、その日にあったことは猫にも話しませんよ。



朝は早めに

ケアマネの仕事はデスクワークが多いため、集中してこなせるよう、朝は早めに出勤します。でも、仕事が遅いのでなかなか追いつきません。デスクワークを効率よく早く行う方法を達人に指南してもらいたい、本当に心から思います。デスクワーク、誰か減らしてくれませんかねえ…。



イコールびと

イコールに関わるひとのとりどりの人生に、少しだけ触れてみる。

細矢さん



ヴァルキリエン・オールスターズと一緒に

「会社をはじめた時、経営の知識はほぼなかったんです。でも、知らないからできることってあるじゃないですか」と、当時は振り返る細矢さん。

ご自身で設立し、代表取締役を務める「ホソヤアーティストネットワーク」では、アーティストのプロデュースや各種イベント等の企画制作の他、福祉関係団体と連携した事業も行っています。「車椅子に乗る自分の感覚を活かせたら」と、その姿勢は常に前向き。「守りに入らず、自分たちのオリジナルを作っていきたい」未来を見据える細矢さんの挑戦は、誰にも止められません。



2016 高橋竹童チラス
今年初のイベント



ホール舞台にて作業中

©ホソヤ アーティスト ネットワーク

こだけ別府

元イコール職員で、現在、別府の街づくりNPOに転職した綾木さん。どうしても、別府の魅力を皆さんに伝えたいとのこと。

アートと地域をつなげるNPO

私の働いているBEPPU PROJECTは、アートで地域づくりを行うNPO法人です。アートのもつ自由な考え方によって、目の前の風景、物事やシステムにも、全く違う可能性があるのでは？という問題提起を促す、様々な試みをしています。

その一つが、別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」。性別や国籍は違えども、湯に浮かぶ町・別府で心の衣服を脱ぎ去り、同じ時を共有することを“混浴”と表現。町を歩きながらアートに巡り合う、ツアー形式のプログラムを展開しました。（綾木）



町歩きをしながら作品やダンスパフォーマンスに巡り合います



ほとんど使われていない公民館で楽しむ、
昭和時代の家電によるコンサート



別府観光港の待合所に描かれた壁画。中学校美術の教科書にも掲載

©別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会

福祉用具事典

在宅生活を豊かにするオススメ用具をご紹介します。

日中1人でも心配なし！ 緊急時に頼れる電話機



この電話、ただの電話じゃありません。緊急ボタンひとつ押すだけで、最大10の連絡先に自動で通報。1人目が繋がらなければ2人目、次は3人目…と、応答があるまで繰り返すので、緊急時に「繋がらないかも」なんて心配は無用です。子機はペンダントになり、ハンズフリーでの通話も可能。また、離床センサーマットを使用すれば、ベッドからの転落時も通報しますので、ご自宅で安心して生活できます。

九州沖通信機株式会社

Qコール電話機

(販売価格) **¥54,800** (税込み)

子機単体での販売も可
離床センサーマットセットもあります

**お見積り・お問い合わせは
弊社担当へお申し付け下さい**

教えて！児玉先生

講師としての顔も持つケアマネ・児玉が、愛する福祉に関して色々和喧いたり、喧かなかったり。

何歳からが高齢者？

そもそも、65歳以上を、どうして『高齢者』というのでしょうか？

色々和説はあるようです

が、今のところ、「1890年頃、ドイツの宰相・ビスマルクが老齡年金支給の対象を65歳からとしたことが始まり」という説が有力です。

ちなみに、100年以上前の65歳は、現在に置き換えると、85歳以上とも言われています。そうなると、「高齢者」への認識が変わってきそつです。

26年度に内閣府が行った意識調査から、「高齢者とは何歳以上か？」という質問に、65歳以上と答えた方は、全体でたったの6.4%。最も多いのは、70歳以上で、29.1%でした。

これを知ってか知らずか、日本老年学会も、高齢者の定義を見直そうという検討を始めています。

同学会によれば、「高齢者の身体機能や知的能力は、年々若返る傾向にある。現在の高齢者は、10〜20年前に比べて5〜10歳は若返っている」と想定されているようです。
『みなさんは、何歳からを高齢者と考えますか？』



本読みに学ぶ Vol.2

答えは、本の中にあるかもしれません。

今月の読みびと
ヘルパーステーション 細野

どんな内容?

「自分」を生きる...と題して、第一部を海老原宏美さんご本人が。泣いて、笑って、ありがとう...と題して、第二部をお母様が書かれています。

脊髄性筋萎縮症Ⅱ型という難病を持ち、「三歳まで生きられない」と宣告された著者が自立した人生を送るため、お母様がどのように育てられたのか。ご本人はどのように障害を受け止めてきたのか、軽やかな語り口調で書かれています。



タイトル
「まあ、空気でも吸って」

著者名
海老原 宏美
海老原 けえ子

この本と出会ったきっかけは?

本屋さんの特設コーナーで出会いました。ちなみに、ご本人にもお会いしたことがあります。

どんなところが好き?

障害があってもなくても、自分の事に関して、自分自身で決めること。それが「自立」なんだという理念のもとで、海老原さんご本人も、障害を持つ方の相談支援事業をされています。その考え方と行動力に、勇氣をもらえます。

また、本文中の言葉もとても印象的です。私のお気に入り的一句话。「自分の人生を引き受けて生きる」。重みのある言葉なのに、ふっと力が抜ける、爽やかな読後を味わえるところが好きです。

どんな影響を受けた?

『すべての人が担える社会的な役割。それは、障害の有無を含む様々な人々が、安心して生きていける社会をつくっていくために多様性を認めること。そして活かしていく社会を創ること。』この言葉を、福祉に携わるものとして、考え続けたいと思います。

小林光明の弁護士さんいらっしやい

第二回

イコールの顧問弁護士が、福祉に関する法務のアドバイスをご紹介します。

借金問題、解決します

弁 護士となって、皆様に強くお伝えしたいこと。それは、「借金で苦しむ必要はない」ということです。

多くの方が、「借りたものは返さなくては」と、必死に返済をされますが、収入に対して債務が大きすぎて、自力での返済が難しいということが非常に多いです。

そんなとき、弁護士に相談していただければ、利息がそれ以上増えない形での分割弁済の和解をしたり、裁判所を通した自己破産・民事再生という手続をとったりと、事態を根本的に解決する手段をアドバイスできます。

最 近の報道では、借金が解決できる問題であることを知らず、苦しんでいる事例を頻繁に耳にします。

このような悲しい事件は絶対に無くさなくてはなりません。

しかし、なかなか表に出てこないというところがこの問題の難しいところです。そこで、地域密着の介護事業所であるイコールの広報誌でみなさんにお伝えし、発信することで、少しでも困っている方の耳に届けばと思っています。

最 後は費用面の問題ですが、私は日頃より、借金問題について相談料は頂いていません。

依 頼を受ける場合も、弁護士報酬を低額に抑え、しかも国の機関（法テラスといいます）が立て替えてくれる制度が使えますので、経済的な負担もかなり抑えることができます（生活保護を受けている方については立て替えられた費用の返還が免除されるので、実質的には負担なしで弁護士に依頼できます）。

高 齢や障がいをお持ちのため、外出が難しい場合には、ご自宅等まで出張もしておりますから、お気軽にお問合せ下さい。

イコール職員から
ご紹介いたします
相談無料!!

立川北法律事務所
弁護士 小林光明
〒190-0012
東京都立川市曙町2-32-3
立川三和ビル4階402号
TEL: 042-548-7230
FAX: 042-548-7231
E-mail: mkoba@ae.auone-net.jp



社長と話そう会

普段から社内外を飛び回る弊社社長・小林の活動をご紹介します。今回は気になる事務所移転について、話を聞いてみたいと思います。

事務所を移転します



今の事務所の様子。庭にはみかんの木があり毎年収穫しています。



Q 引越は1週間くらいかかったりするのですか？

A 1日で終えたいと思っています。土曜まで旧事務所、月曜から新事務所へ出勤、みたいに。間違えて旧事務所に出勤する社員が出るくらいに、業務に支障なく移転するのが目標です。その分、事前の段取りがかなり大事ですね。

Q 物件探しや引越し作業は社長の仕事ですか？

A 介護員は普段のサービスに集中してもらう必要があるので、こういった周辺業務はほとんど私が手配します。うちの会社は今従業員が45名ほど。サービス提供以外の業務も多くなっていますね。

Q 事務所を移転するって聞きましたか？

A 2年ほど色々当たっていましたが、最近、やっといい場所を見つけました。この広報紙が出る頃には諸々決まっているかな。市内ですよ。



移転先。どこかわかりますか？

Q みかんの木がある今の事務所も名残惜しいです。10年も居たしね。新事務所もいい環境なので、きつと気に入ってもらえると思いますよ。

A 移転して何かいいことがありますか？

Q 従業員トイレが増えて順番待ちが減る(笑)

A 今は住宅の転用なのでバリアフリーになっていませんし、間取りに効率の悪さがあります。倉庫が2階にあるとか、トイレが1つとか。新事務所は拠点としてより快適になります。こういう環境整備は結果として必ずサービスに繋がると思っています。

イコール 在宅ケアサービス

イコールと一緒に働きませんか？



ご自宅に伺いご利用者の人生に触れる在宅ケアは、非常にやりがいのある仕事です。一緒に働いて頂ける方、大歓迎です！

在宅ケア 専門

生活の場であるご自宅にて業務を行う“在宅ケア”は、プライバシーへの配慮や現場での臨機応変の対応など、病院や施設とは違うノウハウが必要です。イコールは創業以来、在宅ケア一筋。ご自宅でのサポートはお任せ下さい。

東京都東大和市高木2-154-5
tel: 042-567-8210
fax: 042-567-5847
info@e-equal.jp

ヘルパーステーション

介護 訪問介護・予防
保険 東京都指定1374600276

障害 居宅介護/重度訪問
支援 地域生活支援(移動)
東京都指定1314300094

事業所 東京都目黒区中根2-15-2-103
tel: 03-6451-2217
fax: 03-6800-5567
cp-m@e-equal.jp

ケアマネセンター

介護 居宅介護支援
保険 東京都指定1374600680

ケアプロダクツ

介護 福祉用具貸与・販売
保険 東京都指定1374600961

相談支援センター

障害 計画相談支援
支援 東大和市指定1334300496(身/知/精)
1374600094(児)

ケアプロダクツ目黒

介護 福祉用具貸与・販売
保険 東京都指定1371003870

ヘルパー派遣

年中 24
無休 時間

日曜祝日・お正月・深夜など、年中無休・24時間体制で介護員を派遣いたします。
(人員の都合はございますのでご相談下さい)

複数

担当制

ご利用者を複数職員で担当する事で、休みの際の適切な引継ぎを行います。